

2022年4月～7月号 カサ・デ・アミーゴス会報

事務所：〒411-0018 三島市初音台 4-7(代表自宅)

代表 高原 静子(携帯 090-4083-3281) TEL&FAX:055-972-1793

URL:<http://camigos.web.fc2.com/> <https://www.facebook.com/casadeamigos1990>

E-mail: c.amigos2012@gmail.com 郵便振替: 00890-2-2473

倉庫: 〒411-0803 三島市大場 952-9

2022年7月2日 アミーゴス総会

7月2日(土)カサ・デ・アミーゴス総会が行われました。昨年に引き続き、コロナ禍の中で総会を行いました。当初、コロナ禍での参加者が危ぶまれましたが37名の参加がありました。

当日は総会に先立ち「夜間中学って なーに?」についての2つの記念講演がありました。来年4月

から静岡県内で初めて公立の夜間中学が西部地区の磐田市と東部地区の三島市に開校されることになり、講演第I部は、静岡県立大学 国際関係学部の高畑幸先生に依る「グローバル化時代の夜間中学～2023年春、三島に開校!～」とのタイトルで、

・夜間中学は様々な理由で基礎教育を受けられなかった人びとに識字能力および学力の獲得と進学の手助けをもちます。

・教育制度の「年齢主義」と「課程主義」のはざまで、日本特有の「形式卒業」により、十分に学べなかった外国ルーツの子どもたちが学びなおす機会となるとの趣旨のお話がありました。

第IIは、外国籍の子供たちに日本語教室を開講されている「のびっ子クラブ」の石井千恵子さんより体験に基づく外国籍の子供たちの現状についてのお話を伺いました。

どなたも参加できます

県内初の県立夜間中学校

「夜間中学って なーに?」

第一部講師 高畑 幸 教授 静岡県立大学 国際関係学部

第二部講師 石井 千恵子氏 のびっ子クラブみしま

日時 2022年7月2日(土) 12:50 開場
第一部 13:00～13:40 (講演・質疑応答)
第二部 13:50～14:20

会場 三島市民活動センター第1, 2会議室
三島市本町3-29(本町タワービル4階) 駐車場は有料です。
三島広小路駅より徒歩3分。JR三島駅南口より徒歩12分

参加費 無料

夜間中学校(やかんちゅうがっこう)とは・・・

いろいろな理由(りゆう)で、小学校(しょうがっこう)や中学校(ちゅうがっこう)を卒業(そつぎょう)できなかった人(ひと)や、ほとんど学校(がっこう)に通(かよ)えないまま中学校(ちゅうがっこう)を卒業(そつぎょう)した人(ひと)が、中学校(ちゅうがっこう)の勉強(べんきょう)をするための学校(がっこう)です。中学校(ちゅうがっこう)の勉強(べんきょう)をする場(ば)ですので、日本語(にほんご)の勉強(べんきょう)だけをすることはできません。

主催 カサ デ アミーゴス 代表 高原静子 携帯 090-4083-3281
〒411-0018 三島市初音台 4-7 E-mail: c.amigos2012@gmail.com

後援: 三島市国際交流室

会員でなくても、外国人支援やボランティアに関心のある方はご参加ください。

カサ・デ・アミーゴス 2022 総会のお知らせ

日時 7月2日(土) 14:30 ~ 15:30 会場 三島市民活動センター
カサデアミーゴス(友達の家)は、外国人の人権擁護や多文化共生社会の実現のために、生活相談、労働相談、学習支援、食料支援などの活動を行っています。

インタビュー:Aさん(ブラジル出身) 「何もわからないところに入るのが大変でした」

背景 ブラジルの中学を卒業 ⇒ **ことばの壁**

課題 日本には高校受験がある ⇒ **制度の壁**

独学 隣町の公文教室へ
(公文教室は三島市内にもたくさんあるが、本
記のプリントを扱っているのは隣町にしか

地域に
夜間中学が
ほしい

学齢超過の子が学ぶ場がない



アミーゴス総会での報告

2021年度 食糧支援報告

1. 年間延べ支援世帯数は3125世帯へ食糧配付（月平均260世帯）

上記のうち、三島・沼津、富士地区以外の支援先など

- ① BEさん（シングルマザー）（定期個別訪問支援世帯）
1月(3)、4月19日、5月26日、7月6日、9月10日、10月10日、11月28日、
12月ブラジルグループからのプレゼントがあった。
- ② アメリコさんの支援活動(御殿場地区) 2月18日(29)、4月23日(23)、5月16日(26)、
7月20日(30)、10月13日(32)、12月8日(32)
- ③ 掛川グループ 1月17(70)、2月20日(63)、3月20日(57)、5月16日(70)、7月4日(46)
8月1日(70)、9月12日(31)、10月24(40)、12月19日(35)、

2. 食料支援関係の助成金事業の取り組み

- ①赤い羽根第3回フードバンク助成事業(子どもの自立と食スキル獲得支援)、②赤い羽根草の根助成(外国人の食支援活動参加など)、③一人親等の子ども食支援事業(厚労省事業、241世帯へ食品配付)

2021年度(令和3年) 学習支援活動報告

「外国につながる子どもたち」をテーマにアミーゴスの学習支援活動も統計を取り始め今年の8月で9年になります。皆様のご支援とご協力に深く感謝するものです。
 諸般の事情で補習授業など受けられない子どもたちなどに三島カトリック教会の一室を借りて勉強は毎週土曜日(学校が休みの日)午後2時から2.5~3時間くらいを目途として行ってきました。
 未来ある子どもたちが安心して学習に取り組める環境を作り、明るく素直な子どもとして育っていただけますように！子どもたちが明るい未来を描けるように！と思いつつ支援に取り組んでいるところです。これからも子どもたちのためにも頑張っていきますので、どうぞご指導・ご協力のほどよろしくお願い致します。
 尚、新型コロナウイルスの感染を注視しつつ活動を続けました。

2021年度(令和3年度)の実績 2021.4.1~2022.3.31

年度	月	日		出席者		備考	学年	実人数	
		定日(土)	実施日	児童・生徒大人	スタッフ				
2021(令和3)	4	4	1	4	3	コロナの影響で中止	未就学児	0	
	5	5	5	22	15		小 1	1	
				休(G) 2	2	1		2	0
	6	4	4	27	15		3	1	
		5	4	26	16		4	1	
	7		夏 1	1	1		宿題ほか	5	1
		8	4	4	35	21		6	1
				夏 2	3	3			
			個 1	1	1		大人、日本語	中 1	4
	9	4	4	28	19		2	1	
	10	5	3	13	10		3	4	
	11	4	4	17	12				
4		4	16	13		高 1	0		
2022(令和4)	1		冬 0	0	0		2	1	
		5	3	10	9		3	1	
	2	4	4	11	9		3	1	
		4	4	10	9		児童・生徒	16	
	3		春 0	0	0		大人	3	
計		52	46	228	157		スタッフ	9	

尚 受験生で直接スタッフの家庭学習に行った生徒は除いてあります。

スタッフより思うこと

- ①まずは子どもたちの居場所となるような環境づくりを心がける。
- ②テストの結果として判断されがちな「学力」だけでなくその子どもの能力・技量を見つけ伸ばせるような工夫を考えながら、その能力を活かせるような方策を考える。
- ③学習のPDCAサイクル(計画・実行・チェック・改善)を身につける努力を更に日課シート化してそれらを繰り返させるようにしたら良いと思う。
- ④子どもたちの将来へ「将来をどう生きるか」をイメージさせて手ごたえを感じ取れるように又その気持ちを持てるようにしていけるように心がける。
- ⑤これからは就業への道しるべも考えにいれて一緒に考えていきたい。

アミーゴス労働相談報告（2021年4月～2022年4月）

1. 21年4月18日 ペルー籍Kさんの労災事故相談

普段は自動運転していた機械の調子が悪く手動運転に切り替えていた時、左親指が機械に巻き込まれ骨折した。その後、労基署に後遺障害補償の申請をして、後遺障害一時金の支給を受けたが、昨年、損害賠償を求めて派遣会社Yと団体交渉を行った。Kさんとの意思疎通がうまく行かず、本人が現状をどれだけ理解しているか怪しいところがあり状況は進展していない。会社の責任をはっきりさせ、後遺障害等級が何級かを確認し、損害賠償請求額を推定することが必要だ。

2. Tさんはボリビア籍の女性労働者。富士宮のS工機で働いていたが、2020年8月24日、工場内の通路を歩いていたら、通路内にパイプ状の物がはみ出してそれに足を取られて転倒右腕肘を打撲する労災事故にあった。労災事故の会社責任を追及し団体交渉を3回重ねたが、会社側は証拠がないことをいいことに責任を認めない。

3. 21年8月3日ベトナム人技能実習生Rさんの相談。Rさんは3年の実習期間が終了したが、コロナで母国に帰れないため、特定技能に種目変更してさらに1年、日本に残留して働くことを考えた。ところが現在の受け入れ団体である東海J協同組合が技能実習3年の修了証書を出さず、東海J協同組合には団体交渉の申し入れを行うも拒否され、本人は伊豆の国市の友人宅に身を潜め、交渉を続けたが、ベトナムの母親が危篤状態になり、やむなく帰国した。

4. 10月3日 派遣会社TワークスのHさん労災事故相談

2020年11月26日、U国際の下請け派遣先のI製作所内で労災事故にあった。同僚の押す160Kgの荷物を積んだ台車が右足にぶつかり打撲、撲傷はコンパ一面と症候群というより重篤な症状を来し、現在も治療が進行中。会社側の責任を追及し2回団体交渉を行ったが、損害賠償は労災打ち切り後の後遺障害の程度が決まらなければ始まらない。

5. 2022年4月9日 F工業Mさんの相談

25年前に来日、6年前からF工業に勤務。4月4日（月）部長に呼ばれて、ロッカーの荷物を全部片付けて今すぐ帰れと言われ、首になったと思い労働相談。昨年9月労災事故、会社h自己責任として届けせず。団交で解雇撤回、しかし、本人は首になって失業給付を貰いたいと言いつつ。その後、労災は受理されたが、医療センターでの労災受診はしておらず、労災打ち切りかも？

暖かいお心のこもったご寄付等有難うございました。

<会費及び現金・物品等の寄付>

2/14中西 進 様	寄付金	5/16西岡ルイサ 様	寄付金
2/15後藤恵美子様	寄付金	5/16小和田尚子 様	会費
2/20浅川隆子 様	寄付金	5/16上松利代 様	会費
3/03前田千鶴子様	会費	5/16中西 進 様	寄付金
3/03川口真理 様	寄付金	6/11長谷川淑恵 様	寄付金
3/03服部奈々 様	会費	6/17遠藤とし子 様	寄付金
3/16中西 進 様	寄付金	6/17中西 進 様	寄付金
3/25不二聖心父母の会（熱海三島地区）	寄付金	7/02総会時での会費	
3/27浅川隆子 様	寄付金	水口英男 様、渡邊喜久雄様	
4/02鈴木二海子様	会費・寄付金	覚本直人 様、覚本雅世 様	
4/05山崎晴美 様	寄付金	菊池博 様、平野 謙 様	
4/17守屋 中 様	寄付金	ルイサ 様、ダリオ 様	
4/19河村美里 様	寄付金	百瀬秋彦 様、堀 考信 様	
4/19中西 進 様	寄付金	鈴木通正 様、高原静子 様	
4/22成島貞子 様	寄付金	中塚佳宏 様、小野啓一 様	
5/01田中ルミ子 様	返金	水野義夫 様、齋藤嘉鳳 様	
5/15石島英子 様	会費・寄付金	7/02澤村信子 様	寄付金
5/15浅川隆子 様	寄付金	7/02花山勝重 様	会費・寄付金
		7/10志賀賢子 様	寄付金
		7/21志賀賢子 様	寄付金

<カサ・デ・アミーゴス担当役員・世話人>

代表
事務局
長
計
会
事
務
局
会
計
監
査
世
話
人

高原静子（日本語教室）（食料支援）
堀考信（ニュース編集）
水野義夫（食料支援）
小澤輔夫 斎藤嘉鳳
百瀬秋彦 水口英男
覚本直人・雅代、村松きらら（ホームページ・フェイスブック）、
岡田基美（日本語教室）、守屋中、大津良嗣
寺田和子（聖心会修道院）、渡辺逸子（聖心会修道院）
菊池博、平野謙（沼津市議）、鈴木道正、渡邊喜久夫
根本雄二、西岡ルイサ（スペイン語通訳）、カルロスダリオ・ナンシー
服部マルタ、岡本邦彦、岸本ジョマール

会計報告

2021年度 アミーゴス会計決算書

2021.4.1～2022.3.31

収入			
費目	予算額	決算額	備考
繰越金	1,924,508	1,924,508	前年度繰越金
会費	80,000	92,000	46名
寄付	400,000	1,015,683	32件(聖心会、同学院熱海三島地区会他)
雑収入	1,000	10	利子
収入合計	2,405,508	3,032,201	参考:2020 決算2,953,849円

支出			
費目	予算額	決算額	備考
活動費	350,000	388,353	30年誌、移住速、2HJ、報徳、ふじのくにFB等協力金、学習支援
食料支援費	990,000	838,043	運搬、電気代、地代等
振護費	30,000	41,577	医療費支援他
通信費	60,000	56,722	30年誌郵送代他
旅費	10,000	5,000	県内4団体(焼津)会合
消耗品費	30,000	13,618	封筒、紙、インク代他
雑費	30,000	11,293	慶弔、茶菓子代
救援積立	1,000	0	
予備費	919,508	16,843	赤い羽根食料支援事業等拠出分
支出合計	2,420,508	1,366,449	参考:2020 決算1,029,341円

2022年度 予算 (案)

収入	
費目	予算額
繰越金	1,665,752
会費	80,000
寄付	400,000
雑収入	1,000
収入合計	2,146,752

支出	
費目	予算額
活動費	300,000
食料支援費	900,000
振護費	30,000
通信費	60,000
旅費	10,000
消耗品費	20,000
雑費	30,000
救援積立	1,000
予備費	795,752
支出合計	2,146,752

次年度繰越金 1,665,752 円

内訳	現金	通帳	合計
事務所会計	3,417	1,057,544	1,060,961
本部会計	0	604,791	604,791
合計	3,417	1,662,335	1,665,752

事務所会計通帳 郵便局 *** 口座番号***** 札会 渡 考信

本部会計通帳 スルガ銀行本振貸付部 No.***** カサ・デ・アミーゴス(株) 水野義夫

2021年度 救援基金会計 決算書

2021.4.1～2022.3.31

収入		支出	
前年度繰越金	1,271,027	次年度繰越金	1,271,133
雑収入	106		
収入合計	1,271,133	支出合計	1,271,133

次年度繰越金 1,271,133 円

1,217,897 円 (現金預金支(No.0271****) 定期預金 計カサ・アミーゴス事務局(株) 水野義夫

53,236 円 (現金預金支(No.02****) 普通預金 計カサ・アミーゴス事務局(株) 水野義夫

会計監査報告

カサ・デ・アミーゴス 様

経理の執行は適正であり、本部・事務所会計、救援基金会計各事業会計は、正確に処理されているものと認めます。
2022年 6月30日

会計監査

百瀬秋彦 (印)
水口英男 (印)

2021年度 助成事業等実施報告

1. 厚労省事業「ひとり親家庭等への食料支援」
事業期間2022年3月 事業費250万円
県本部や県外の生活困窮の外国人児童世帯など241世帯へ食品BOXの配布を行った。

2. 移住者と連帯する全国ネットワーク
同行通訳支援事業(休職預金活用事業)
事業期間2021.5～2022.2
事業費 40,8000円
通院、市役所等手続き、雇用、労災等の相談・支援要請について、会員等8名(内通訳3名)が支援要請者16名について、延べ55件の支援を行った。

3. 赤い羽根フードバンク等 第3回助成事業
事業期間2021.4～2021.12
事業費 253,890円
食環境が十分でない子どもたちと調理教室を延べ20回行い、食べ物をとおした自立のスキル獲得や、家族関係の良好な変化、食習慣の改善に努めた。

4. 赤い羽根 草の助成事業
事業期間2021.4～2021.9 事業費10万円
外国人ボランティアの養成により、食料支援活動の活性化を図ると共に、仮放免19世帯へ食料提供を行った。食品調達、運搬、配布に参加した外国人からは、良い体験が出来、これからも参加したいとの評価と希望があった。

<活動報告>

- 4/14 (木) セカンド・ハーベスト・ジャパン八潮行き (水野、ダリオ、イサベル)
- 4/21 (木) アミーゴス例会
1. 食料支援・調達活動報告
 2. ひとり親子支援終了報告
 3. 外国人生活相談
 4. 外国人労働相談
 5. その他(6月総会日程等)
- 5/12 (木) セカンド・ハーベスト・ジャパン八潮行き
- 5/19 (木) アミーゴスの例会、参加者: 高原、百瀬、菊池、水野、斎藤、守屋中、西岡ルイサ、ダリオ、ナンシー、新人裾野修道院渡辺、堀、その他新しい人で名前の分からない人2名。①生活相談報告: 中川ヘルナンデス→三島市へ生活保護申請 4/26 決定、32歳、精神疾患、エベルさん 在留カード 5月申請、6月末決定。労働相談 ミリアムの件、学習支援中 3ベラステス、高校進学、②総会日程、7月2日(土) 午後1時から三島市民活動センター第1, 2会議室、はがき案内文案(堀)、活動報告(生活、労働、学習支援、食料支援)、活動計画、会計報告、活動分野分担---Facebook、領収書発行&お礼、講演内容(夜間中学[平野]、のびっこ[高原]) ③移住連ワークショップ 6/11(土) 13時~18時 オンライン討論会、13時~15時 公開シンポジウム---移住連を可視化する、分科会、平野報告---子育て世帯5万円給付、沼津は4月~扶養手当、④八潮行き日程
- 6/16 (木) セカンド・ハーベスト・ジャパン八潮行き
- 6/23 (木) アミーゴス例会
- 7月2日 アミーゴス総会に向けての準備
- 議案作成、①活動報告(生活相談---高原、食糧支援---水野、労働相談---堀、学習支援---斎藤) ②会計報告(水野)、③活動方針(堀)、④役員体制(水口)
- 総会役割分担
- ・横断幕作成---堀
 - ・通訳配置---西岡ルイサ、根本
 - ・受付---岡田、菊地、
 - ・講師対応---平野
 - ・議案書、資料印刷---(堀)
- 7/02 (土) カサ・デ・アミーゴス総会、三島市民活動センター第1・2会議室
- 7/14 (木) セカンド・ハーベスト・ジャパン八潮行き
- 7/21 (木) アミーゴス例会
1. 7月8月の八潮行き予定 ・8/10(水) 13:30 9/8(木) 14:00
 - ・その他 学習支援 サマーキャンプ(コロナ感染予防のため、お楽しみ会に変更実施)
 2. 各種報告 ・生活相談 ・労働相談
 3. ひとり親子支援事業について
 4. 伴走支援について ・制度と登録の仕組み ・活用方法等について
 5. アミーゴス名簿の整理と各種登録の共有について ・メールアドレス ・メーリングリスト(グループメール) ・フォームページ管理 ・Facebook 管理
 - ・2HJ マッチングシステム登録管理方法 ・アミーゴス家委員名簿の整理 ・会報郵送先の整理
 - ・連絡網の整理
 6. 会報発行について 記事内容等
 7. その他
- 7/27 (水) Tさんの労災の件で、痛みが酷いので静岡市立病院の医師に休業診断書の件で話す。
- 7/29 (金) Mさんの後遺障害給付申請書を労基署に提出、夕方、教会でTさんの労災休業の件で相談

<編集後記>

今年の夏は6月から猛暑続き、各地で40度超えの異常高温。人類の二酸化炭素排出による温暖化が原因とされ、全世界で二酸化炭素削減が叫ばれている。2030年までに温室効果ガス46%削減目標。2050年には完全カーボンニュートラル実現すること。カーボンニュートラルとは、温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることで、それ以降温室効果ガスは増加させないと言う。人類の文明活動が地球温暖化をもたらし、地球を破滅に向かわせる。しかし、それよりもっと酷いのが戦争による自然破壊だろう。二酸化炭素排出をいうより、どう見ても戦争を止めるのが先だろう。一方で、地球環境は太陽活動の影響の方がけた違いに大きいと言う説もある。